

テーマ	伝統行事の活性化・復活等による郷土愛の醸成
1. 現状と課題	<p>かつて、地域やムラムラにおいては、寺社の祭礼、講、稚児行列等、農事関係では、野あがり、虫おくり、雨乞い、豊作占い等、その他、盆踊り、どんど、ムラ芝居、草競馬等が行われ、ムラ社会全員の触れ合いの場であるとともに、子供時代の行事参加の思い出を通し郷土への愛着を育むものであった。しかし、現状は、担い手不足、参加者の減少、個人主義の流れの中で、多くの伝統行事等が行われなくなり、また衰退の運命にある。近年、スポーツや文化の同好会、新しいスタイルのイベントは活発化しているが、これらに加え、伝統行事等を再生させることによって、若者の郷土愛醸成の一助といたしたい。</p>
2. 実施事項（対策）	<p>市内の伝統行事や伝統文化を調査発掘する。その上で特色ある行事、市民が楽しめる行事等については、限られたグループやムラのものにとどめず、できるだけオープンにし、広域化し、もう一度復活させ、あるいは、現行のイベントとドッキングさせて、持続可能で、市民の誰でも見学や参加できる市民共有の行事に育てていく。</p>
3. 詳細内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内各地における伝統行事等を調査する。内容、時期、参加者、由来、継続の見通し等。また、過去に行われていたものも調べる。さらに臨時的に予定される行事の情報（例、稚児行列等）も収集する。 ・ 市民に広く認知されている既存のイベント情報に加え、地域伝統行事の情報についても、市報やケーブルテレビ等で情報提供し、参加・見学を呼びかける。 ・ 特色ある行事、小学校区単位以上で市民が広く参加できる行事等については、オープン化、広域化を促し、市から助成金を交付する。 代表的なものは、賑わいのあるまちづくりの柱として育成し、市外へも発信する。
4. 想定コスト	<p>・ 行事情報の提供、助成金等 年間5百万円程度</p>
5. 想定リスク	<p>・ 伝統行事は閉鎖性、地域性が強いものもあり、オープン化・広域化の理解を得られるか。また、現代の若者に受け入れられるか。さらに、消えていった行事の復活は可能か。</p>
6. その他	